

余市町都市計画マスタープラン&余市町立地適正化計画 住民説明会 概要

開催日時： 令和5年2月21日（水）午前6時30分から
開催場所： 中央公民館 301会議室
参加者： 別紙名簿のとおり
事務局： 庄木まちづくり計画課課長、阿部企画政策課長、まちづくり計画課本間主幹、
松尾主幹、大隅主事
委託事業先： シン技術コンサル 加藤

○質疑応答の概要（午後7時頃～）

参加者T ①DXはまちづくりにどう関係すると考えられるか。

②誘導の効果、課題解決、コストへの効果は。

本間主幹 ①ビッグデータの活用等が考えられる。この後もデジタル技術が進むので活用する場面も増えると考えられる。

②誘導区域に関しては次年度検討。都市のスポンジ化によりインフラの維持も困難となるので、ライフサイクルの機会に応じ、住み替えを考えていただきたい。

参加者K ①土地という入れ物に何を（ex.企業、移民）入れるかを、他部署と考えるべき。

②町内に青森のりんごしか売っていない。仕事がないと人が外に出てしまう。1次産業だけでない産業は如何か。

本間主幹 ①都市機能誘導区域、居住誘導区域を設け、有効に施設や居住が誘導されるようにする。

②「まち・ひと・しごと創生総合戦略」での移住・定住に関する目標・施策と連携しながら進めたい

参加者A 「火葬場の建設地確定を見据え…」との表現について、以前道新の記事に火葬場の候補地が載った。自分は火葬場の適地検討委員であり、まだ候補地が決まっていなくてもかかわらず記事で掲載された経緯を教えてください。

庄木課長 担当課で移設先を検討する上で記事が出たものであり、その経緯はわからない。当課は移設先が決定した後、都市計画として位置付ける立場である。

参加者A 記事が出ると住民は決定したと誤って思う。庁内でちぐはぐな対応は、しないで欲しい。

庄木課長 私ども都市計画を担当する部署としては、施設の建設を担当する部署から移設先が決定したとは聞いていない。決定して初めて都市計画として位置付けすることになる。

参加者 I ①JR 駅、バスターミナルを“駅周辺”というのは、駅活用も含め、周りの方に広げていくことを考えているのか。
②国土交通大臣が“新幹線の札幌延伸が 2020 年度に間に合わない”という発言があった。バスターミナルの整備時期も伸びるのか。

阿部課長 ①今のバス路線のすべてが駅前を経由しており、JR 駅が結節点になっているので、ここを中心に考えていきたいと思っている。
②並行在来線の廃止は、延伸の日と同時であり、駅舎を使用している間はバスターミナル化が出来ない。

参加者 H ①R27 9.8 千人が高齢者率 50%であることをイメージして、このプランか。
②誘導された人の住む場所を、町はどうするつもりか。
③レッドゾーンに住民が住んでいるか。
④土地、建物について書いてあるが、人についてどう考えるか。

本間主幹 ①将来人口推計に基づきマスタープランを定めるものであり、概ね 5 年おきに現状に合わせて見直ししながら進めていく。
②強制的に移住してもらうのではない。個人の選択であり、区域外なら内に移住して欲しいというもの。

庄木課長 ③レッドゾーンに住居はある。
②居住誘導区域は住居、都市機能誘導区域は便利施設が長い時間をかけて集まっていくものであり、あっせんのようなことは想定していない。
④人とのつながりは今以上に大切にしていかなければならないと考えている。
①の補足説明であるが、都市計画においては概ね 20 年先を見据えて計画するものであり、現在公表されている国立人口問題研究所で推計している、本町の将来人口を踏まえ計画していくものであり、社会情勢の変化等に併せてしかるべき時に見直しを行うものである。

参加者 I 役場庁舎の建て替えは現位置か？

庄木課長 老朽化が進んで機能提供できていない側面、人口減少で施設集約・複合化必要。庁内プロジェクトチームで検討中。立地適正化計画に施設整備を位置付けることで補助金の増となるなど一般財源使わないよう配慮し、歳出抑制につながるよう進める。

参加者 I 信金の建物の上が空いたので入るとか、民間施設との複合化の考えもあるか？

阿部課長 現位置は行政拠点であり、役場の他に振興局、税務署もある。そこにあった方がいいとか、信金も中心核の中だからいいとか、いろいろな考えがある。いずれにせよ、中心核の中になると考えられる。

参加者 i あくまでも一つの意見として聞いてほしい。

- ①バスターミナルはもう考えないと。線路に隔てられている状態が変わるから。
- ②美園などの町営住宅も空室が多いのでは？人口を増やす政策を推進してほしい。

阿部課長 ①バス転換の前の日までは駅を使っている。転換後に整備し、駅の表裏の一体化とも含めて考えたい。

庄木課長 ②美園の町営住宅は人気高い。人口減少を鑑み老朽化している公営住宅の再編整備については、新たに建替えのみにとらわれず、民間アパートを活用し家賃補助等といった手法も検討し、公営住宅における施策として検討している。

参加者 M 余市町独自の人口増施策は？

庄木課長 H28 から住宅取得等支援を行っている。

参加者 M 人口減の理由は？

庄木課長 主に高齢者が毎年 300 人亡くなっており、出生数を上回っている自然減によるもの。

参加者 S ①計画と現実のギャップを感じている。空家による周囲への被害防止のため、屋根に雪止めつけるべきと町長に伝えると、所有者と被害者の問題であり、民間で解決すべきという回答だった。

②まほろば地区の歩道の除雪ができていない。

③バスターミナルをどう整備するか、今から計画し関係機関協議すべき。倶知安は新幹線の開通に向けて駅の連絡通路等が撤去され、工事が進んでいる。

庄木課長 ①空き家であれば、所有者確認やパトロール等を実施しており、事案が発生した場合は、所有者への連絡し、対応の依頼等をしている。

②除雪の内容については、直接の所管課ではないため、ご意見については担当部局へお伝えしたい。

阿部課長 ③バスターミナル化については、廃線までの期間と廃線後の 2 つのパターンを想定し、同時並行で今から考えるという意味である。

参加者 S ニッカの建物の雪が小嶋内科との間の道路に落ちる。町も被害者なのではと思う。

庄木課長 空き家のお話と認識しておりましたが、この場合は所有者の責務として対応いただくものと考えております。

閉会（午後 8 時 40 分頃）